

所属名	事務事業名	ページ番号
スポーツ振興課	サガントス交流宣言事業	2
スポーツ振興課	プロスポーツ連携事業	3
スポーツ振興課	スポーツ教室開催補助事業	4
スポーツ振興課	スポーツ少年団育成事業	5
スポーツ振興課	スポーツきっかけづくり推進事業	6
スポーツ振興課	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	7
スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ支援事業	8
スポーツ振興課	さが桜マラソン大会開催事業	9
スポーツ振興課	各種スポーツ大会開催補助事業	10
スポーツ振興課	公益財団法人佐賀市体育協会との連携事業	11
スポーツ振興課	市民体育大会開催事業	12
スポーツ振興課	校区対抗駅伝大会開催事業	13
スポーツ振興課	県民スポーツ大会関連負担金	14
スポーツ振興課	スポーツ合宿推進事業	15
スポーツ振興課	スポーツ指導者育成事業	16
スポーツ振興課	各種大会出場助成事業	17
スポーツ振興課	東京2020オリンピック聖火リレー運営事業	18
スポーツ振興課	プロスポーツチーム連携地域活性化事業	19
スポーツ振興課	佐賀市民運動広場運営事業	20
スポーツ振興課	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	21
スポーツ振興課	市立野球場・弓道場管理運営事業	22
スポーツ振興課	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	23
スポーツ振興課	佐賀勤労者体育センター運営事業	24
スポーツ振興課	学校体育施設開放事業	25
スポーツ振興課	西神野運動広場運営事業	26
スポーツ振興課	春日運動広場管理運営事業	27
スポーツ振興課	富士運動広場管理運営事業	28
スポーツ振興課	三瀬グラウンド管理運営事業	29
スポーツ振興課	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	30
スポーツ振興課	三瀬プール管理運営事業	31
スポーツ振興課	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	32
スポーツ振興課	久保田グラウンド・補助グラウンド管理運営事業	33
スポーツ振興課	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	34
スポーツ振興課	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	35
スポーツ振興課	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	36
スポーツ振興課	佐賀市健康運動センター管理運営事業	37
スポーツ振興課	健康運動センター施設維持管理経費（計画修繕）	38
スポーツ振興課	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業	39
スポーツ振興課	久保田グラウンド改修事業	40

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	サガントス交流宣言事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	市のイメージの向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	まちづくりの一環としてプロスポーツを通じた青少年の人材育成、スポーツ振興等を図ることを目的にサガン鳥栖と締結した交流宣言に基づき、両者の広報媒体を活用した広報協力をを行い、サガン鳥栖の活動を通してスポーツへの関心を喚起するとともに市民のスポーツ実施率を向上させる。				
事業の対象者	市民、サガン鳥栖を応援する市民等				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチスポンサーの実施 1回 (9/5) ・サガン鳥栖ホームゲームの試合結果の広報 19回 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,671				
うち佐賀市の負担額	4,671				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
日常的に運動・スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57	58	59	60		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
マッチスポンサーの実施、広報だけでなく、選手、OBによるサッカー教室等の事業の充実に向け、クラブと協議する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	プロスポーツ連携事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市をホームタウンとして活動するプロバスケットボールチーム「佐賀バルナーズ」と連携することにより様々な効果を地域振興につなげる。				
事業の対象者	市民、佐賀バルナーズを応援する市民等				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学生対象バスケットボールクリニックの開催 2回 佐賀バルナーズホームゲームでの親子職業体験イベントの実施 3回 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	588				
うち佐賀市の負担額	588				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ホームゲーム観戦者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17,488						

成果指標②						単位
日常的に運動・スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57	58	59	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
選手、コーチによるスポーツ教室等を充実し、市民が選手等と触れあう機会を増やすことでチームの認知度を高めて試合観戦者を増やすとともに、スポーツ実施のきっかけを創出する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ教室開催補助事業	事業期間	平成 21 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	スポーツや運動が、より身近なものとして広く浸透するために、スポーツをやりたいと思っている市民に対し、そのきっかけづくりについて、各競技種目団体に補助金を交付し、初心者向けスポーツ教室の開催を促す。より多くの市民がスポーツを始める機会を提供する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	スポーツ体験教室開催補助 1教室（新型コロナウイルス感染症の拡大により中止）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4				
うち佐賀市の負担額	4				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
教室参加者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
-					
成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度をもって事業廃止 スポーツに取り組むきっかけづくりを目的とする事業としては、「スポーツきっかけづくり推進事業」で引き続き取り組み、より多くの市民にスポーツに親しむ機会を創出していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	生涯学習・情操教育・地域とのつながりを柱に、いろいろな種目の少年スポーツクラブが、スポーツ少年団に結集し、体力増進、リーダーの養成、交流、研修を行う。スポーツ少年団は日本最大の青少年団スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。市は佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。				
事業の対象者	市内に居住する児童、生徒(小学生・中学生)				
令和2年度主な活動実績	佐賀市スポーツ少年団大会(7月) 佐賀市親子SHIPS交流大会(12月)佐賀市長杯ミニバスケットボール大会(12月)指導者・保護者研修会(3月)				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,328				
うち佐賀市の負担額	2,328				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
加盟団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
45	46	47	48	49		

成果指標②						単位
加盟団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
665	700	730	760	800		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
スポーツ少年団の活動を充実させ、登録団加入促進のための交流大会等を実施し、登録団体の増加を図る。また、大会結果やクラブの紹介等の情報発信をすることにより、スポーツ少年団の知名度を上げる。さらに、若年指導者の育成にも努めたい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツきっかけづくり推進事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を生かし、地域スポーツの普及、推進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸し出しなどを行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を取りながら、佐賀市まなざしスポーツレクリエーション祭や、各地区での出前講座などを行い、ニュースポーツの指導、普及に努める。				
事業の対象者	市民全般				
令和2年度 主な活動実績	市まなざしスポ・レク祭(10月)、出前講座				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	481,340				
うち佐賀市の 負担額	481,340				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出前講座参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
471	500	600	700	800		

成果指標②						単位
まなざしスポ・レク祭参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
254	265	280	290	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
出前講座については、地域のスポーツ推進委員と連携し、学校やPTA、老人会、子ども会などの団体に対して、効果的な広報を行うことで開催回数、参加者数の増加を図っていく。市まなざしスポ・レク祭についてはニュースポーツを知らない市民も気軽に参加できるように広報を強化したり、他のイベントと連携することで、参加者数の増加を図る必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市が計画する各種大会等への協力、地域でのニュースポーツの普及などの活動を行っている。また、スポーツ推進委員相互の資質向上を図るため、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的に開催し、協議・研修を行っている。さらに、佐賀市の委託でまなざしスポーツレクリエーション祭を開催し、市民スポーツ、レクリエーションを普及する。				
事業の対象者	市民全般				
令和2年度主な活動実績	定例研修会、各専門委員会（総務、事業、研修）、理事会、研究大会、まなざしスポーツレクリエーション祭等を開催。地域イベント、他団体イベントでのニュースポーツ指導の実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,070				
うち佐賀市の負担額	5,070				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各校区開催ニュースポーツ教室参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6,901	7,000	7,100	7,200	7,300		

成果指標②						単位
まなざしスポーツレクリエーション祭参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
254	265	280	290	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
スポーツ推進委員は、地域に根ざしたスポーツ推進に欠かせない存在となっているが、一方で地域によっては認知度が低く、活動が停滞しているところも見受けられる。健康づくりの面でもスポーツの実施は重要であり、スポーツ推進委員の活動に対する期待は大きく、今後も実技研修会等を通して、個々のレベルアップを図り、ニュースポーツの普及や地域スポーツの推進のための更なる活動が必要である。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が出し合う会費や寄附により自主的に運営するクラブのことである。多世代、多種目、多志向により活動していくことにより、スポーツの振興のみならず、地域の核としてコミュニティ形成を図る。市民への周知を進め、意識醸成をはかり、既存の総合型地域スポーツクラブに対しては、広報等で支援するとともに、新規クラブの設立に向け、2年間の設立支援補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	佐賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会、「新しいかたちのクラブネットワークアクション」へ出席し、県内各クラブ及び先進都市におけるクラブとの情報交換を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	46				
うち佐賀市の負担額	46				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
総合型地域スポーツクラブ会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,097	1,120	1,150	1,180	1,200		

年度	目標	実績
R2	-	1,097
R3	1,120	-
R4	1,150	-
R5	1,180	-
R6	1,200	-

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
第2期スポーツ基本計画では、総合型地域スポーツクラブの質的充実が求められている。総合型地域スポーツクラブの普及は、スポーツ人口増の解決策となり得るだけでなく、地域のつながりを強める上でも重要な施策である。県・地域機関と連携を深め、啓発活動に努める。また、27年度に設立した「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」を通じて、総合型クラブ間での情報交換や交流の機会を設け、各クラブの自立促進を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	さが桜マラソン大会開催事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	さが桜マラソンを開催することにより、多くの市民にスポーツをする（ランナー）、みる（応援）、ささえる（ボランティア）活動への参画を推進する。 ■主催 佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、神崎市、佐賀市 ■日時 3月第3または第4日曜日に開催				
事業の対象者	市民全般				
令和2年度主な活動実績	2021大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通常大会を中止し、代替大会として「さが桜マラソン2021オンライン」を実施した。 ○オンラインマラソンの運営 ○オンラインマラソンのサブイベントとして開催したさが桜サンクスデーの運営 ○ランニングに関する講習会の実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,259				
うち佐賀市の負担額	4,347				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
マラソン大会参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
2,943	10,000	10,000	10,000	10,000		

成果指標②						単位
ボランティアスタッフ数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
-	3,000	3,100	3,100	3,100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
成果指標①（マラソン大会参加者数）・・・ランナーにとって安心安全な会場の環境づくり及び沿道応援や佐賀の特産物のふるまいなどのおもてなしの充実を図る。 成果指標②（ボランティアスタッフ数）・・・大会に向け、コース沿線住民や市内の事業所など佐賀市民の機運醸成を図る情報発信を行いながら、楽しみながら、活動ができる環境づくりを実施する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種スポーツ大会開催補助事業	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	競技スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	スポーツの競技大会は参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会になり、競技力向上や競技人口の増加にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援でスポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通してより充実した大会が開催されることによりスポーツへの参加を促し、周知啓				
事業の対象者	市民全般				
令和2年度主な活動実績	県内一周駅伝大会 【中止】 富士しゃくなげ湖ハーフマラソン大会、北部連合尚武会演武大会、思斉館柔剣道大会、三瀬旗少年剣道大会、ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会、むつごろうCUP車椅子バスケットボール大会				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	100,000				
うち佐賀市の負担額	100,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
143	2,600	2,650	2,700	2,750		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52	55	58	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
大会を支えるスポーツ指導者や地域スポーツ団体、また、選手やボランティアの参加促進を図り、一般市民のスポーツ（「する」、「ささえる」）に対する関心を高める。また、補助金の交付対象等の基準について整理し検討していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公益財団法人佐賀市体育協会との連携事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公益財団法人佐賀市体育協会（佐賀市体協）は、校区体協の育成、種目競技団体の育成、選手の強化、大会の開催等の事業を通じ、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発達に取り組む団体である。体協に補助金を交付することにより、体協と連携して佐賀市の社会体育の健全な普及・発展を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	各種大会やスポーツ教室等の開催、市主催スポーツイベントへの協力等により、佐賀市のスポーツ振興、並びに普及活動を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	32,985				
うち佐賀市の 負担額	32,985				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市体育協会主催事業等参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,063	6,500	6,700	6,900	7,000		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52	55	58	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
公益法人として公益目的事業の推進が必要であり、今後スポーツ大会のほか、スポーツが苦手な人や初心者が参加しやすいスポーツ教室の拡充等事業展開にくわえ、少年スポーツにおける指導者向けの研修会の開催を連携しながら行ってきたい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民体育大会開催事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>■概要 市民スポーツの祭典として、市内各会場において競技を行い、小学校区及び地区対抗で得点を競う。競技によっては県民体育大会の予選を兼ねている。得点競技19競技、オープン競技8競技により開催している。</p> <p>■目的 市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。</p>
事業の対象者	佐賀市民
令和2年度主な活動実績	令和2年度第73回佐賀市民体育大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止とした。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	47				
うち佐賀市の負担額	47				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市民体育大会参加チーム数						チーム
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	480	500	500	500		

成果指標②						単位
市民体育大会参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	6,000	6,200	6,200	6,200		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
競技人口の減少、あるいは参加校区が少ない競技種目については、競技団体や校区体協に対しスポーツ体験教室や校区内での大会開催を働きかけて底辺の拡大を図る。また、他の行事と重ならないような日程調整を行い、競技実施者への周知を徹底することで参加人数、参加校区の増加を図る。参加者及び競技団体より、実施の要望がある競技については、随時検討していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	校区対抗駅伝大会開催事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市が主催し、佐賀市陸上競技協会に競技運営を委託、体協の協力を得て、各地区体協へ参加を募り、大会開催する。駅伝競技に親しむことにより健康と体力の維持・増進を図る。また、開催についての情報を提供し、観戦していただくことにより市民のスポーツに対する関心を高める。佐賀市干潟よか公園周辺にて校区を6つに分け23.3kmで開催する。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和2年度主な活動実績	平成29年度は、平成30年1月28日に開催 平成30年度は、平成31年1月27日に開催 令和元年度は、令和2年1月19日に開催 令和2年度は、中止				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62				
うち佐賀市の負担額	62				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加校区						区
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	29	29	29	29		

成果指標②						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	300	300	300	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の校区体協区域別の大会であるが、すべての校区体協からの参加に至っておらず、全校区参加での開催が課題に挙げられる。今後、参加していない校区への参加の呼びかけを積極的に行う。また、人口の少ない校区については、他校区との合同参加を検討してもらうことで、参加者数の増加を図る。また、観戦に対して積極的に広報することで大会の認知度を上げ市民のスポーツに対する関心を高める。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	県民スポーツ大会関連負担金	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	競技スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	県民スポーツ大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、大会についての情報を提供し、大会を見ることにより市民のスポーツに対する関心を高める。 県民スポーツ大会は、県民の間にスポーツを普及振興し、スポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな県民生活の進展に寄与することを目的とし、毎年10月第3土曜、日曜日に20競技33種別で開催される。開催地は、県内を4ブロックに分け、持ち回りで開催。佐賀市は、多久市、小城市と同ブロック。				
事業の対象者	大会参加選手、役員				
根拠法令等	県民スポーツ大会総則				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	436				
うち佐賀市の負担額	436				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
佐賀市出場競技数					競技
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
12					

活動実績②					単位
佐賀市出場選手数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
320					

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、20競技中7競技が中止となり、順位をつけない「交流大会」という位置づけで開催されたため、例年よりも出場者数が減少した。
 市民のスポーツへの関心を喚起させるため、大会開催の周知や佐賀市選手の結果報告をホームページや施設に掲示し、情報発信を積極的に行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ合宿推進事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内でスポーツ合宿を行うアマチュア団体に延べ宿泊数に応じて補助金を交付し、スポーツ合宿による交流人口の増加を図る。佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会において、国内外のトップレベルチームの合宿・キャンプの誘致、受入れ、市民との交流の機会創出に取り組み、トップレベル選手のトレーニングの様子を見たり、選手等との交流をきっかけにして日常的にスポーツを行う市民を増やす。				
事業の対象者	市外の中中学生以上のアマチュアスポーツ団体、プロ、国内・海外代表スポーツチーム等、選手等と交流する市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿補助金の交付 3 団体 ・東京2020大会事前キャンプ実施国の文化理解講座の実施 3 回（3 校） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,459				
うち佐賀市の負担額	5,459				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スポーツ合宿実施団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	7	8	9	10		

成果指標②						単位
日常的に運動・スポーツを行っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57	58	59	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

本市での合宿実施の様子をSNS等で積極的に紹介し、合宿適地としての認知度を高めることで合宿実施団体の増加を図る。各国代表、プロチーム、実業団の合宿、キャンプ時のスポーツ教室や指導者講習の充実に加え、HP、SNSほかの媒体を活用して練習見学を促し、市民の運動・スポーツ実施意欲を高める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種大会出場助成事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	小中学生及び高校生にとってスポーツの競技大会への出場は、日ごろの練習の成果を発揮する場であり、九州及び全国規模の大会に出場することは競技力の向上にもつながる。激励金、補助金を交付することにより、競技スポーツの推進を図る。				
事業の対象者	市内小中学生及び高校生				
令和2年度主な活動実績	九州大会及び全国大会に出場する小中学生及びスポーツ競技の全国高等学校大会に出場する高校に対し、激励金、補助金を交付する。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,049				
うち佐賀市の負担額	1,049				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助金交付件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
3	5	7	9	10		

成果指標②						単位
激励金交付人数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
130	500	520	540	560		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
より多くの小中学生及び高校生が大会へ出場できるよう、競技人口の少ない競技など広く支援していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ指導者育成事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	競技スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ジュニア期は生涯を通じてスポーツと関わる習慣を身につける重要な準備期であることから、勝利至上主義を見直し、少年スポーツのあり方や適正な指導方法を指導者、保護者に啓発する必要がある。 少年スポーツ指導者や保護者に対して、ジュニア期におけるスポーツのあり方等についての講演会や研修会を開催し、指導に関する最新の情報を入手し、少年スポーツ指導における正しい指導法確立を支援する。
事業の対象者	少年スポーツ指導者・保護者、体協加盟団体
令和2年度主な活動実績	少年スポーツ指導者・保護者及び校区体協、競技団体等に対して、少年スポーツ研修会を開催した。所定の資格を取得しようとする少年スポーツ指導者に対し、資格取得にかかる経費の一部を助成した。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	808				
うち佐賀市の負担額	808				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研修会参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
54	70	80	90	100		

年度	目標	実績
R2	-	54
R3	70	-
R4	80	-
R5	90	-
R6	100	-

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
平成27年度に策定した「少年スポーツのあり方についての取組方針」について、スポーツ指導者及び保護者に対し周知を図り、市が作成した指導者教本を用いて適正な指導を行っていく。また、公的な指導者資格の取得についての啓発を行っていく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー運営事業	事業期間	令和元～令和3年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東京2020オリンピック開催への機運を高めるため、本市での安全・安心な聖火リレーの実施を図る。 <佐賀市の対応> ・運営ボランティアの手配 ・交通規制等の予告・周知 ・警備用資器材の手配・配置				
事業の対象者	市民、市在住または本市に通勤、通学する18歳以上の人				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,767				
うち佐賀市の負担額	1,767				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
ボランティア応募者数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
478					
活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>東京オリンピック・パラリンピックの延期により、聖火リレーの実施も2021年5月10日に延期されたため、令和2年度（2020年度）中に延期後の聖火リレー実施に向けたボランティアを再度募集した。（令和元年度の応募者数250人）</p>
--

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	プロスポーツチーム連携地域活性化事業	事業期間	令和 2 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	生涯スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	県内プロスポーツチームと連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大で疲弊した市民の活力をスポーツの力で取り戻すとともに地域経済の再浮揚を図る。また、佐賀バルナーズのB2リーグ戦ホームゲームへの集客支援策を講じて、市民がスポーツ観戦を楽しむ機会を創出するとともに、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。 【実施事業】 ・スポテン佐賀2020開催 ・プロに学ベジュニアアスリートトレーニングクリニック ・キッズB&Dチャレンジプロジェクト ・子育てママのスポーツ教室 ・佐賀バルナーズホームゲームマッチスポンサー ・佐賀バルナーズB2リーグ戦ホームゲーム観戦割引チケット販売業務				
事業の対象者	市民、佐賀バルナーズホームゲーム観戦者、市内小中学生・幼児、未就学児とその母親				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	25,068				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
各種事業参加者数（のべ）					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
11,328						
活動実績②					単位	
実施事業数					事業	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
6						

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した時限事業であるため今年度で終了し、各イベントについては、スポテン佐賀2021開催事業、佐賀バルナーズ連携事業、サガントス交流宣言事業に移行して実施する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市民運動広場運営事業	事業期間	平成 1 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)19,548m ² 野球1面、ソフトボール1面、サッカー1面、夜間照明(開館時間)日の出から午後9時まで。				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,100				
うち佐賀市の負担額	1,100				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27,116	30,000	31,500	32,000	32,500	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29	50	70	75	80	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)1,221m2 バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台14台 トレーニング室、ミーティング室、テニスコート砂入り人工芝8面、夜間照明（午前9時から午後9時30分）				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会（当初からの継続）。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,637				
うち佐賀市の負担額	16,637				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100,781	110,000	120,000	125,000	123,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
74	80	85	87	90	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市立野球場・弓道場管理運営事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】野球場(面積)12,613m ² (観客席)内野2,400人(開館時間)午前9時～季節により変動 弓道場(近的)28m、10人立(遠的)60m、6人立(開館時間)午前9時～21時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,124				
うち佐賀市の負担額	17,124				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
18,931	19,000	19,500	20,000	20,500	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37	45	50	52	55	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
屋外競技・個人競技のためかコロナ禍による利用者減は見られないが、短時間での利用のため全体での稼働率は1割程低下していた。安心・安全な利用ができるようにコロナウイルス感染症拡大防止対策を今後も徹底し、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	事業期間	昭和 53 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)52,890m ² 野球4面、(開館時間)日の出から日没まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	グラウンドの整地や清掃等の維持管理に関しては競技団体に業務委託。 市民相談コーナーにて、施設の利用申請の受付を行った。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,434				
うち佐賀市の負担額	1,434				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
869	1,500	2,000	2,100	2,200	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29	30	31	32	33	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で野球大会利用は大きく減少しているが、空いた枠で練習利用が増えており、大会中止で利用者数は減少したものの稼働率でいえばコロナ前の水準を上回っているため、コロナ禍でのニーズに合致した環境であることも増加の理由となっている。また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀勤労者体育センター運営事業	事業期間	昭和 55 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(アリーナ)1,085m2 バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台14台(2階)140m2、(開館)午前9時～午後9時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,816				
うち佐賀市の負担額	13,725				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
44,095	48,000	52,000	54,000	56,000	
	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
80	85	88	90	92	
	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校体育施設開放事業	事業期間	昭和 62 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校教育に支障がない範囲で体育館などの学校体育施設を有効利用し、子どもの安全な遊び場及び地域住民の身近なスポーツ活動の場として活用している。				
事業の対象者	佐賀市民、市内在勤者、市内在学者				
令和2年度 主な活動実績	平成23年10月から使用料を無料（夜間照明を除く）に統一し、平成24年度からは学校体育施設開放運営委員会による管理運営を実施している。（現在52校）旧市内10小学校及び川副中学校テニスコートには夜間照明施設を設置している。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用者への利用自粛要請、三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,331				
うち佐賀市の負担額	5,331				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
642,529	658,600	691,500	708,800	726,500	

成果指標②					単位
利用件数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37,224	38,100	40,000	41,000	42,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> 各学校体育施設における社会体育用品等の充実を図り、身近なスポーツ施設としてのより一層の活用を図る。 スポーツ施設との相互利用をさらに促進させるため、管理運営方法の見直しを行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	西神野運動広場運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)10,200m ² 少年野球1面、ソフトボール1面、(開館時間)午前6時から午後7時まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	465				
うち佐賀市の負担額	465				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,722	16,000	18,000	18,500	19,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
31	33	35	38	40	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	春日運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動場)12,388m ² 野球2面、ソフトボール2面 (テニスコート)クレーコート4面、(開館時間)日の出から日没まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成29年度から指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理・運営を図っている。平成29年度から令和3年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,253				
うち佐賀市の負担額	1,253				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
21,326	27,000	30,000	32,000	34,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
25	28	30	32	34	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)8,500m ² 野球・ソフトボール1面、夜間照明施設(屋内練習場)350m ² 、(相撲場)440m ² 、(開館時間)運動広場:日の出から午後10時、屋内運動場:午前8時から翌日午前8時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度主な活動実績	グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は富士支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476				
うち佐賀市の負担額	4,476				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
6,607	6,800	7,000	7,200	7,400	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
13	14	15	16	17	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍でも利用者数・稼働率共に横ばいで推移しているが、稼働率が2割未満と低いため、もっと施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)9,650m ² 野球1面、ソフトボール2面、夜間照明(開館時間)日の出から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	三瀬グラウンドのグラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,814				
うち佐賀市の負担額	1,814				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
4,767	8,000	10,000	10,500	11,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
17	18	19	20	21	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

コロナ禍でも稼働率上昇するなど、例年通りの利用がされている。ただ、稼働率が2割未満と低いため、もっと施設の利用自体を促す必要がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。
また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)787m2 バレーボール2面、バドミントン3面、剣道4面、卓球台5台(開館時間)午前9時から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	体育館の床・窓の清掃、トイレ清掃、消防設備点検は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,613				
うち佐賀市の負担額	1,613				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2,314	5,000	5,500	5,600	5,700	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
18	22	24	25	26	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進する。稼働率が2割未満と低いため、施設の認知度を上げ、利用促進の方策を検討する。また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬プール管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】25m×5コース(内1コース徒歩用)、シャワー室、更衣室、交流室25m2 (開館時間)午前10時から午後4時※7月下旬～8月末のみ開館				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	水質検査、設備点検は業務委託を行った。また、利用受付・使用料徴収等は会計年度任用職員で対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。※令和2年度はコロナウイルス感染症のため、開設中止した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	304				
うち佐賀市の負担額	304				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1,800	1,900	2,000	2,100		

成果指標②						単位
使用料収入						円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	2,000	2,500	3,000	3,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
開館に向けて、コロナウイルス拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行う。利用期間が夏休み期間の日中のみとなっているため、利用者のほとんどを地域の児童で占められているが、施設の認知度を上げ、利用促進の方策を検討する。また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)15,280m2 野球・ソフトボール1面、夜間照明、テニスコート砂入り人工芝2面・クレー2面、夜間照明、スポーツルーム(開館時間)日の出から午後9時30分(屋内は午前8時30分から午後10時)				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,828				
うち佐賀市の負担額	7,828				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
30,992	31,000	32,000	33,000	34,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
19	20	21	22	23	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍でも利用者数・稼働率共に横ばいで推移しているが、稼働率が2割程度と低いため、もっと施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田グラウンド・補助グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(グラウンド) 10,135m ² 、野球・ソフトボール1面、夜間照明 (開館時間)日の出から午後10時(12月から3月の間は日没)まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	令和2年度は改修工事で年間を通じて利用は停止していた。(年度初めに数日の利用があったのみ) ※通常は、グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行い、利用申請受付・使用料徴収等は久保田支所に対応し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整など、施設の適正な管理・運営を図っている。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,681				
うち佐賀市の負担額	4,681				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
1,100	15,000	16,000	17,000	18,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2	25	30	32	34	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は改修工事で年間を通じて使用できない状態が続いていたため、利用者数が落ちている。令和3年度から2つあったグラウンドを1つに集約して運用しているため、利用者数がどのような数値となるか確認してから、改めて目標を定める。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、トレーニング室、多目的室、(観客席)固定294席、移動1,000席、(開館時間)午前9時～午後10時/多目的広場、テニスコート、夜間照明(開館時間)日の出から日没(夏季のみ午後9時まで)				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	36,254				
うち佐賀市の負担額	35,192				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
60,293	85,000	90,000	95,000	100,000	

年度	目標	実績
R2	-	60,293
R3	85,000	-
R4	90,000	-
R5	95,000	-
R6	100,000	-

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
35	38	40	41	42	

年度	目標	実績
R2	-	35
R3	38	-
R4	40	-
R5	41	-
R6	42	-

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で令和元年度より更に利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、卓球場、グラウンド、夜間照明、テニスコートハード2面・クレー2面 (開館時間)午前9時(屋外は日の出)～午後9時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,023				
うち佐賀市の負担額	1,221				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
52,269	70,000	75,000	76,000	77,000		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35	40	41	42		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数が減少しているため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】多目的広場、夜間照明、体育センター、トレーニングルーム、バラエティールーム、剣道場、柔道場、弓道場、近的射場3人立、川副運動広場(開館時間)9時から22時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	平成22年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和2年～令和6年度までの指定管理者は非営利特定法人かわそえスポーツクラブ（当初からの継続）。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	31,036				
うち佐賀市の負担額	31,036				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
85,571	95,000	100,000	105,000	106,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37	38	39	40	41	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数が減少しているため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市健康運動センター管理運営事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち		
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携		
	基本事業	自主的な健康づくりの支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	運動を中心とした活動や交流を通し、心身の健全な発展に寄与すると共に、生活習慣病予防のための運動習慣の獲得、継続を目的とした施設。幼児期から高齢者、障害者を対象とした様々な健康づくり事業を展開している。 【施設の概要】屋内施設(25mプール、トレーニングルーム、スタジオ、入浴施設、多目的室など) 屋外施設(多目的グラウンド、ウォーキングコース、サッカー・ラグビー場など)				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和2年度 主な活動実績	設立当初から指定管理者制度を導入し、平成30年～令和5年度までの指定管理者はサガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事 グループ（当初からの継続）。 健康推進員育成講座、食生活改善推進員養成講座、知的障がい児親子運動教室、子ども体操教室、親子ふれあいサッカー教室等 コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、安心安全な利用ができるよう対応した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	183,052				
うち佐賀市の負担額	2,207				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
205,895	260,000	270,000	275,000	280,000	

成果指標②					単位
稼働率（屋外施設のみ）					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
35	40	41	42	43	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数が大きく減少しているため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和3年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	健康運動センター施設維持管理経費（計画修繕）	事業期間	令和 2 ～ 令和 2 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画に おける位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	自主的な健康づくりの支援	

1 公共事業の基本情報

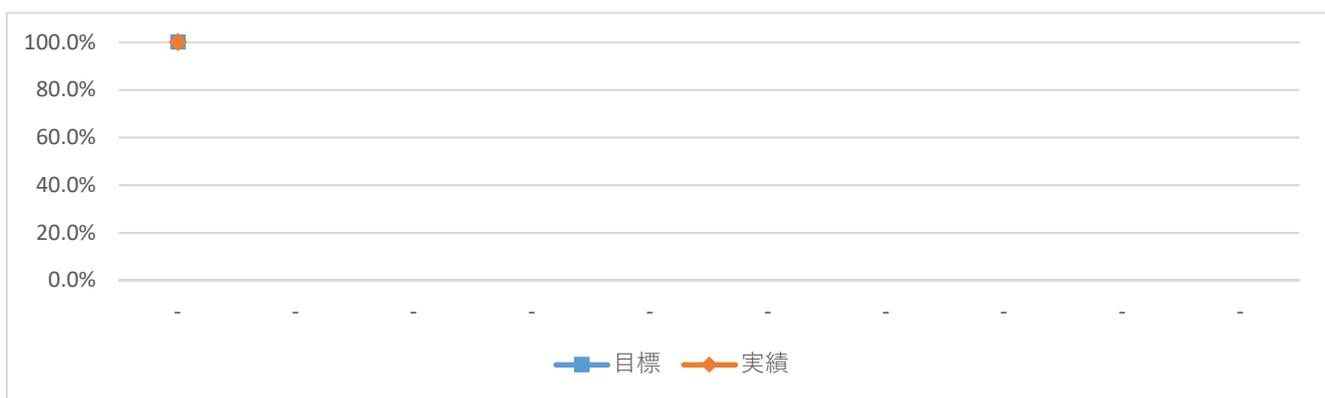
整備概要	プール水の電解水（次亜塩素酸）生成装置の取替工事を行う。
整備の目的	装置の老朽化により低下しているろ過機能を修繕し、本来の低刺激で塩素臭のない水質に改善するため。

事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
工事請負費	12,177				
測量・監理等委託料	253				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	12,430	0	0	0	0
うち佐賀市の負担	12,430				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					12,177
測量・監理等委託料					253
用地購入費					0
補償費					0
その他事務費等					0
計	0	0	0	0	12,430
うち佐賀市の負担					12,430

2 事業の進捗率

目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
100.0%											
100.0%											



令和3年度 公共事業進捗報告シート

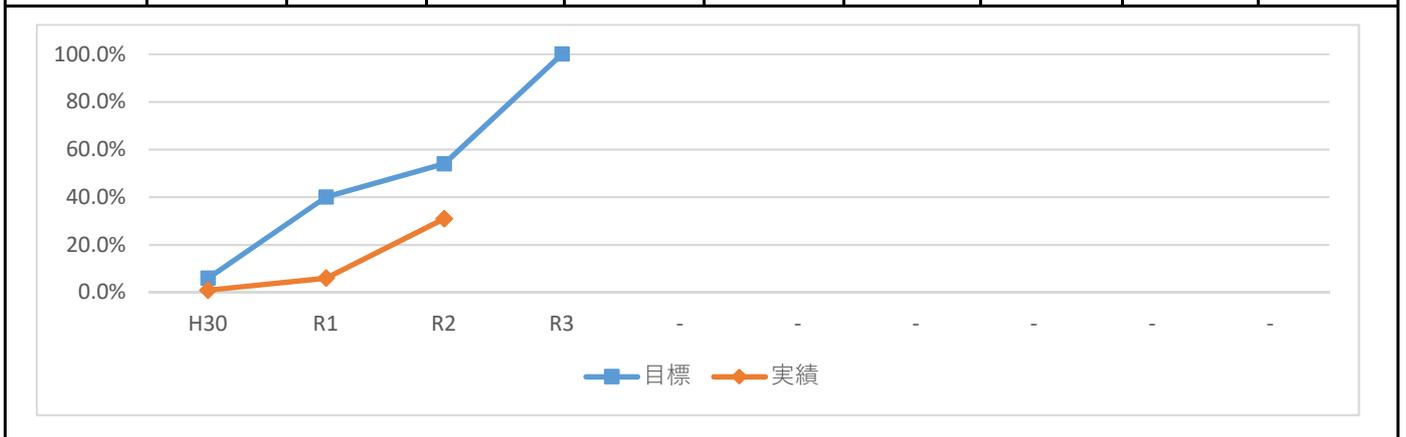
公共事業名	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	管理棟、艇庫、ボート・カヌーコース及びコース付帯施設の整備を行う。 ※整備場所＝富士町大字畑瀬				
整備の目的	富士しゃくなげ湖を有効活用し、ボート・カヌー競技施設整備を行うことにより、第78回国スポ大会等の円滑な開催に資するとともに、スポーツの発展及び地域活性化を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H30年度	R1年度	R2年度	年度	年度
工事請負費			176,799		
測量・監理等委託料	11,331	31,026	12,006		
用地購入費		8,623	64		
補償費		1,649	68		
その他事務費等	280		11,942		
計	11,611	41,298	200,879	0	0
うち佐賀市の負担	11	98	79		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					176,799
測量・監理等委託料					54,363
用地購入費					8,687
補償費					1,717
その他事務費等					12,222
計	0	0	0	0	253,788
うち佐賀市の負担					188

2 事業の進捗率

H30	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	6.0% 1.0%	40.0% 6.0%	54.0% 31.0%	100.0%							



令和3年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	久保田グラウンド改修事業	事業期間	平成 31 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間照明、倉庫、便所等の既存設備の撤去 ・2つあるグラウンドを1つに集約し、防球フェンス、夜間照明設備等の整備 ・グラウンド借地の用地購入 				
整備の目的	久保田グラウンドが県道拡幅工事により狭小となることから、その用途を廃止し、久保田地区内にある久保田補助グラウンドに補完整備を行い、機能向上を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R1年度	R2年度	年度	年度	年度
工事請負費		169,195			
測量・監理等委託料	2,342	2,863			
用地購入費		26,136			
補償費		47			
その他事務費等		96			
計	2,342	198,337	0	0	0
うち佐賀市の負担		174,584			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					169,195
測量・監理等委託料					5,205
用地購入費					26,136
補償費					47
その他事務費等					96
計	0	0	0	0	200,679
うち佐賀市の負担					174,584

2 事業の進捗率

H31	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	14.0% 1.0%	100.0% 100.0%								

